



2024年12月期 決算説明資料

株式会社ビジョン
STOCK CODE : 9416
2025年2月13日

- 01** 業績ハイライト
2024年12月期 実績
- 02** 2025年12月期 業績予想
- 03** 成長に向けた取り組みの内容
- 04** 株主還元
- 05** サステナビリティ ～ESG + SDGs～

01

業績ハイライト
2024年12月期 実績

株主優待：QUOカードもしくはデジタルギフトの影響値

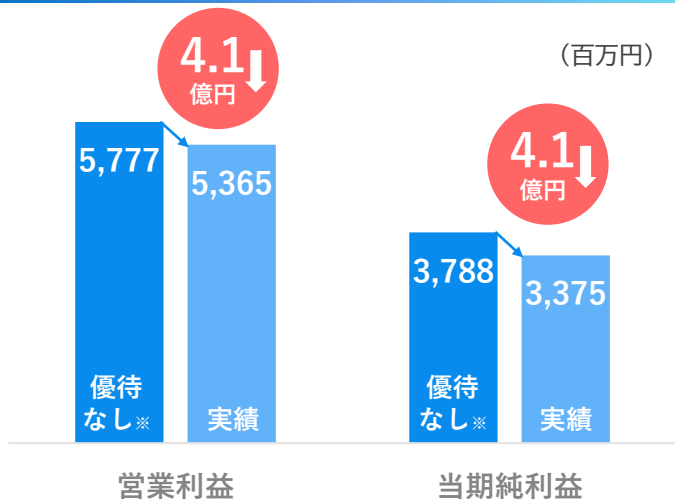
株主優待拡充による影響

総株主数が30,000人を超え、当社の認知度向上や個人株主様の増加という成果につながりましたが、想定した費用の2倍以上となりました。

QUOカードもしくはデジタルギフト費用（半期）

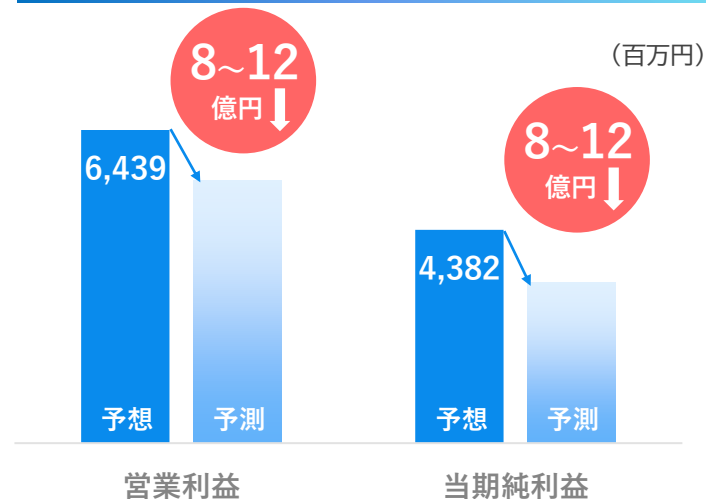
4.1 億円

2024年



QUOカードもしくはデジタルギフトを継続した場合

2025年



※QUOカードもしくはデジタルギフトの優待を実施しなかった場合の予測値

- 株主数の増減が予測困難であることから、営業利益の変動も見通しづらい状況となり、営業利益計画の策定が困難
- 配当に影響する当期純利益への影響が甚大

以上を踏まえ、自社製品サービス以外の優待制度を変更し、上記利益に影響を与えない配当に集約し、増配することといたします

2024年12月期 ハイライト

売上高

過去最高 **35,528**百万円

2023 12月期 前年同期比
支援業務等あり 31,807百万円 11.7%増
支援業務等なし **29,982**百万円 **18.5%**増

営業利益

過去最高 **5,365**百万円 株主優待費用
非自社商品4.1億円含む

2023 12月期 前年同期比
支援業務等あり 4,280百万円 25.3%増
支援業務等なし **3,730**百万円 **43.8%**増

グローバルWiFi事業

売上高

過去最高 **19,875**百万円

2023 12月期 前年同期比
支援業務等あり 18,728百万円 6.1%増
支援業務等なし **16,903**百万円 **17.6%**増

セグメント利益

過去最高 **5,987**百万円

2023 12月期 前年同期比
支援業務等あり 5,032百万円 19.0%増
支援業務等なし **4,482**百万円 **33.6%**増

情報通信サービス事業

売上高

過去最高 **14,490**百万円

2023 12月期 前年同期比
12,108百万円 19.7%増

セグメント利益

過去最高 **1,693**百万円

2023 12月期 前年同期比
1,040百万円 62.7%増

グランピング・ツーリズム事業

売上高

過去最高 **1,155**百万円

2023 12月期 前年同期比
913百万円 26.6%増

セグメント利益

過去最高 **119**百万円

2023 12月期 前年同期比
88百万円 35.0%増

※前期においては、厚生労働省より委託を受け、東京空港検疫所支所等において新型コロナ対策の支援業務（以下「空港検疫受託」）を行いました。また、医療機関と連携し、PCR検査サービスの提供（以下「PCR検査」）も行いました。

※2024年11月13日付「株主優待制度の一部変更に関するお知らせ」等において、300以上保有する株主様として記載または記録された株主の皆様を対象に、QUOカードもしくはデジタルギフト（「非自社製品」といいます）の株主優待制度の拡充を行ないました。

連結

- ◆ 各事業の順調な成長により、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益とも**過去最高**を達成。
- ◆ 売上高**35,528**百万円**11.7%**増（**18.5%**増）、営業利益**5,365**百万円**25.3%**増（**43.8%**増）を計上。
※括弧内の増減率は前年同期の支援業務等（空港検疫受託とPCR検査）の売上高および営業利益を除き算出。

グローバルWiFi事業

- ◆ 法人需要が堅調に推移していることに加え、データ容量「無制限プラン（4G・5G）」の需要が高い水準を保っており、顧客単価は引き続き高水準を維持。
- ◆ インバウンド：訪日外国人向けWi-Fiレンタルサービス「NINJA WiFi®」や空港カウンターに設置しているSIMカード自動販売機での売上が順調に推移。
- ◆ 「World eSIM」の販売にも注力し、順調に推移。

情報通信サービス事業

- ◆ 中途採用を積極的に進めることで、営業力を強化。
- ◆ OA機器と移動体通信機器の販売や電気取次（エコソリューション事業）が好調に推移。
- ◆ 自社ストックサービスの拡販による安定的な収益基盤の構築に注力し、順調に推移。

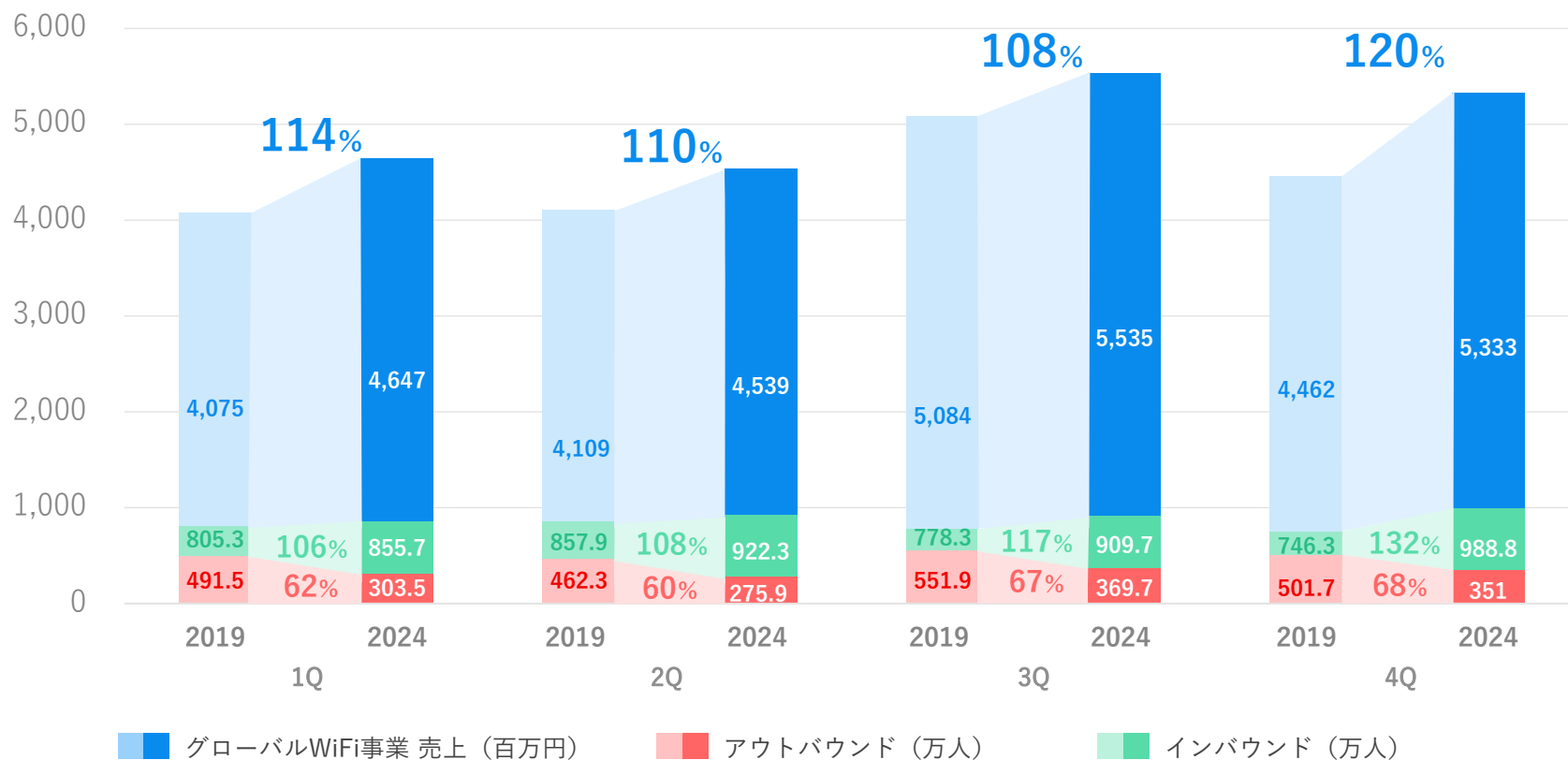
グランピング・ツーリズム事業

- ◆ 「VISION GLAMPING Resort & Spa 山中湖」（山梨県山中湖村）、「VISION GLAMPING Resort & Spa こしかの温泉」（鹿児島県霧島市）ともに、順調に推移。
- ◆ 外国人の宿泊者が増加。

グローバルWiFi事業

アウトバウンドの回復は鈍いものの、法人需要が堅調に推移したことに加え、無制限プラン（4G・5G）の需要が高い水準を保っており、顧客単価は引き続き高水準を維持していることから、各四半期で2019年を超える成長率を達成。

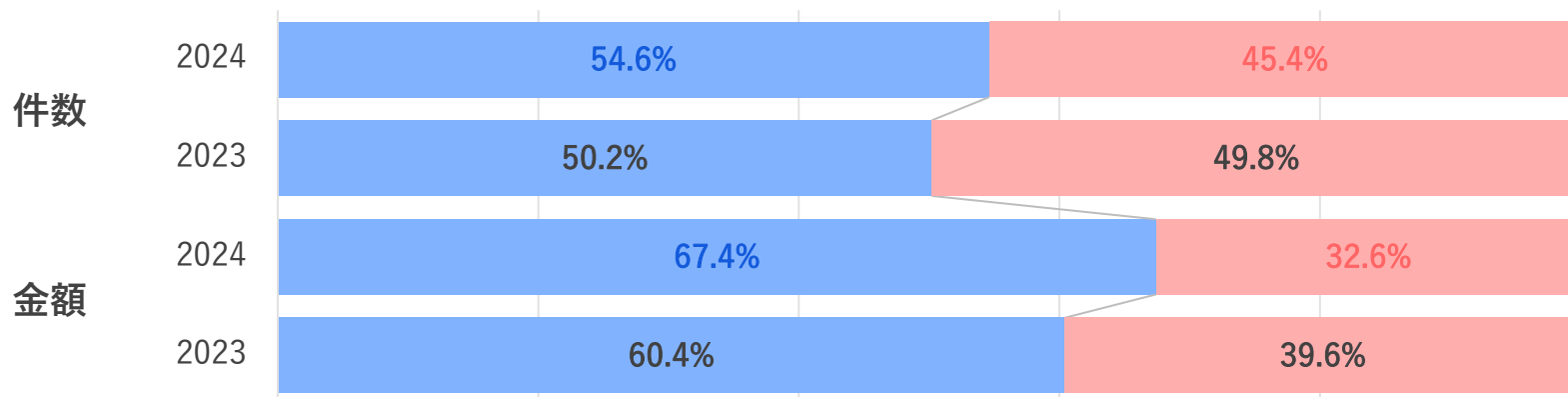
グローバルWiFi事業成長率、アウトバウンド・インバウンド回復率



日本政府観光局 (JNTO) 資料より、当社作成

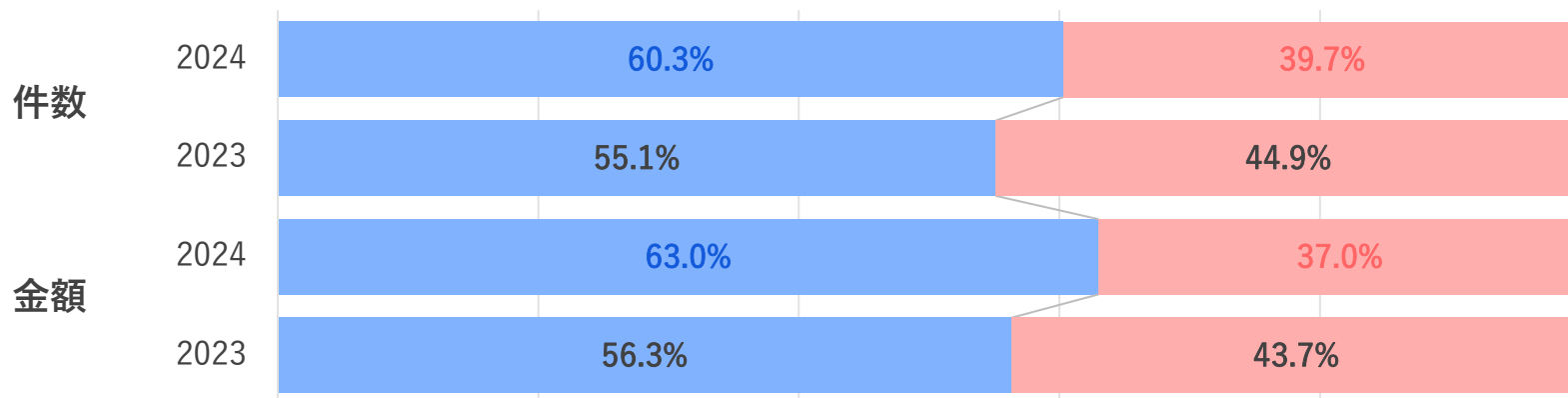
法人・個人

■ 法人 ■ 個人



新規・リピート

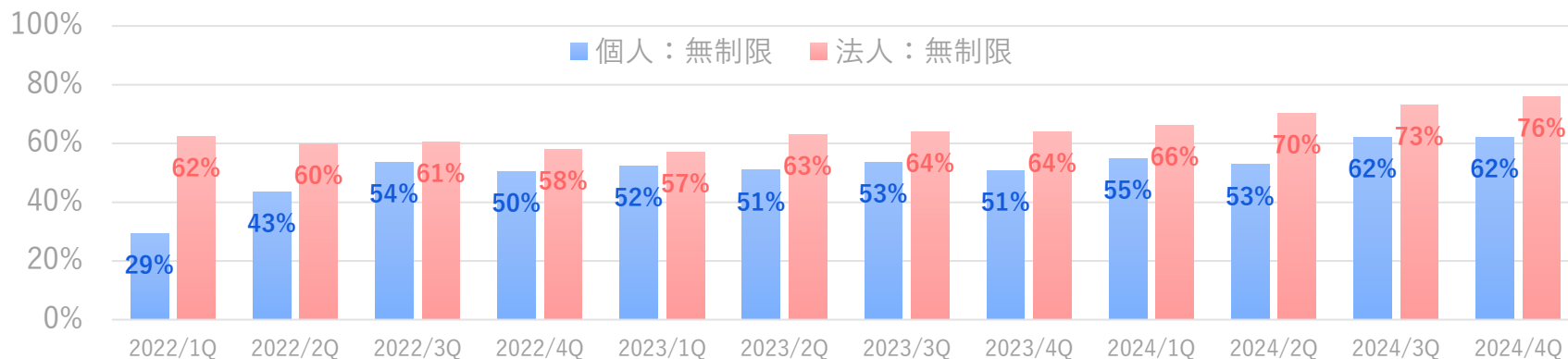
■ リピート ■ 新規



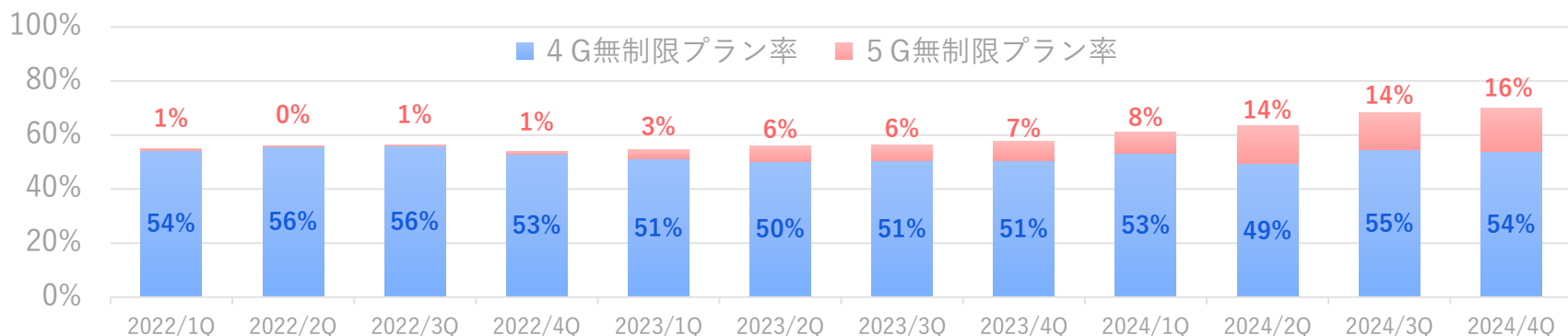
グローバルWiFi事業 無制限プラン利用率

- ◆ 「無制限プラン」の提供エリアを128の国と地域へ拡大。
- ◆ 「5G」を提供するエリアは、50の国と地域へ拡大。

無制限プランの利用率（法人・個人）



無制限プラン利用率（5G・4G）



グローバルWiFi事業 – 「グローバルWiFi®」と「World eSIM」の比較–



安心・便利・快適にいつものスマホが使える！



業界最多クラスの空港カウンターで受け取り・返却が可能！



5Gや無制限など豊富なプランで、ご利用シーンにぴったりのプランが見つかります。



受け取り・返却不要！いつでもどこでも購入可能！



200以上の国と地域でご利用いただけます



180以上の国と地域でご利用いただけます

おすすめのシーン

複数人でのご利用や複数デバイスの接続に便利
5Gプランを選択することで、5G非対応のスマホでも5G通信の速度でご利用が可能

一人旅や1台のみでの接続に最適

特徴

- ・無制限プランを128の国と地域で提供
- ・スマホ以外にもPC、ゲーム機などの接続が可能
- ・通信トラブルの際に、復旧までの時間が短い
- ・各国で複数の通信会社の電波網を利用可能
- ・ビジネスシーンや家族旅行のご利用が多い
- ・複数人での等分利用により、お得にご利用
- ・キャリアアグリゲーションによる安定した通信が可能

- ・申込み～ご利用開始までが簡単
- ・eSIM対応スマホが必須
- ・テザリングにより、スマホ以外のデバイスの通信も可能
- ・若年層のご利用が拡大している
- ・利用状況に応じて、追加容量の購入が発生
- ・5G非対応スマホの場合、4G通信となる

対象エリア

クラウド型Wi-Fiの採用により、各国で複数の通信会社の電波が使用できるため、利用可能エリアは広い

各国で1つの通信会社との契約となるため、「グローバルWiFi®」との比較では利用可能エリアは狭まる

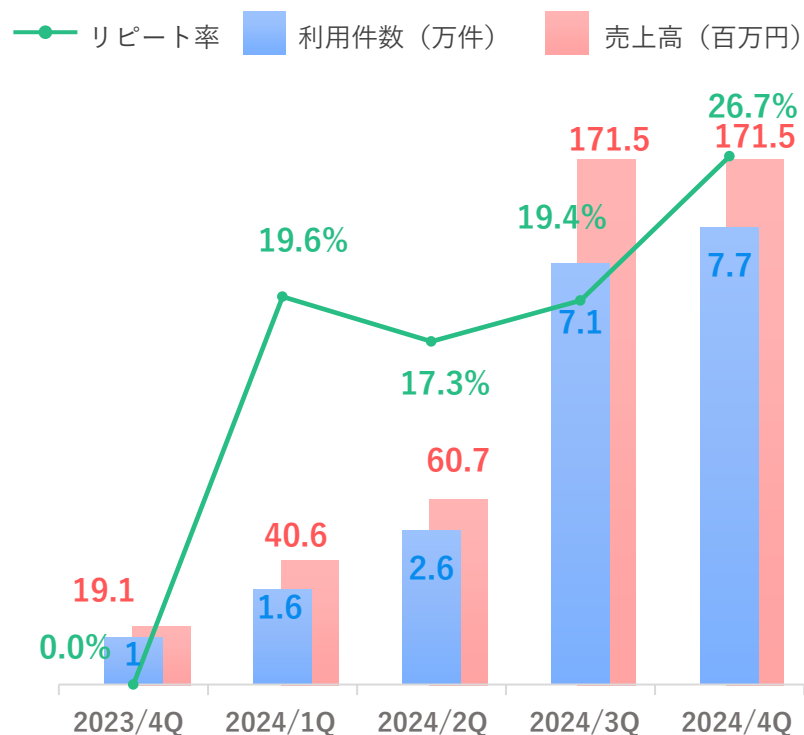
※キャリアアグリゲーション：複数の周波数帯を同時に使用することで、通信速度の向上や、安定した高速通信を実現する技術です

グローバルWiFi事業 World eSIM

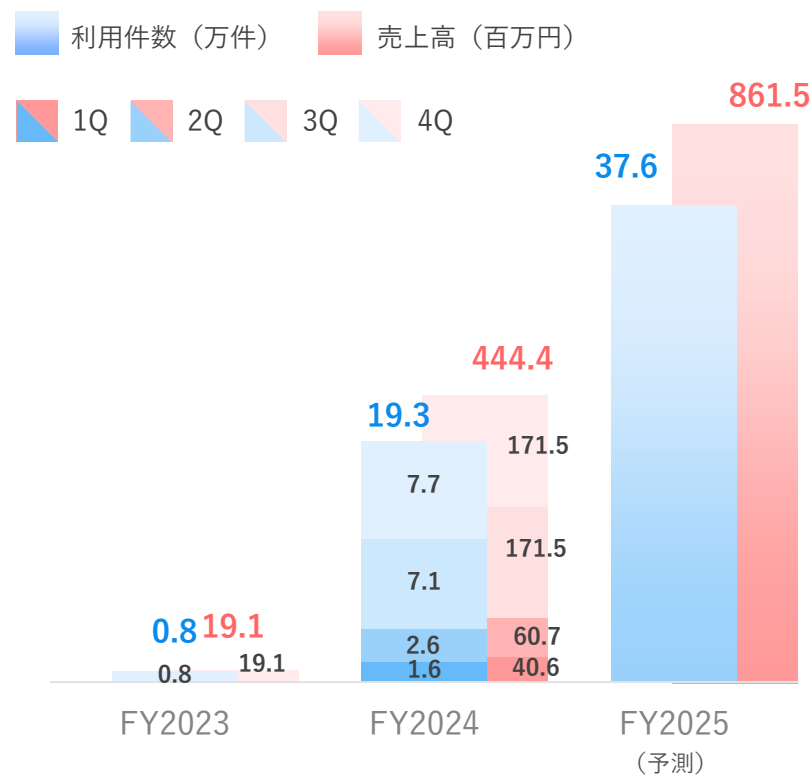
- ◆ 2023年11月より、World eSIMの販売を強化。
- ◆ グローバルWiFi事業における当期売上高構成比は2.3%となり、件数およびリピート率も順調に推移。

World eSIMの売上高・利用件数・リピート率

四半期ごと



累計



連結損益計算書

- ◆ 各事業の順調な成長により、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益とも過去最高を達成。
- ◆ 売上高35,528百万円11.7%増（18.5%増）、営業利益5,365百万円25.3%増（43.8%増）を計上。
※括弧内の増減率は前年同期の支援業務等（空港検疫受託とPCR検査）の売上高および営業利益を除き算出。

	2023年12月期		2024年12月期		YoY増減率		通期業績予想 2024年6月発表	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率	予想	進捗率
売上高	31,807 29,982	100.0% -	35,528	100.0%	3,721 5,546	11.7% 18.5%	36,145	98.3%
売上原価	14,005	-	14,958	42.1%	953	6.8%	15,488	96.6%
売上総利益	17,802	56.0%	20,570	57.9%	2,767	15.5%	20,656	99.6%
販売管理費	13,521	42.5%	15,205	42.8%	1,683	12.4%	14,949	101.7%
営業利益	4,280 3,730	13.5% -	5,365	15.1%	1,084 1,634	25.3% 43.8%	5,707	94.0%
経常利益	4,337 3,787	13.6% -	5,422	15.3%	1,084 1,634	25.0% 43.2%	5,738	94.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,025 2,650	9.5% -	3,375	9.5%	349 725	11.6% 27.4%	3,797	88.9%

青数字は前期の支援業務等の実施額を差し引いた比較となっております。

セグメント別売上高および利益

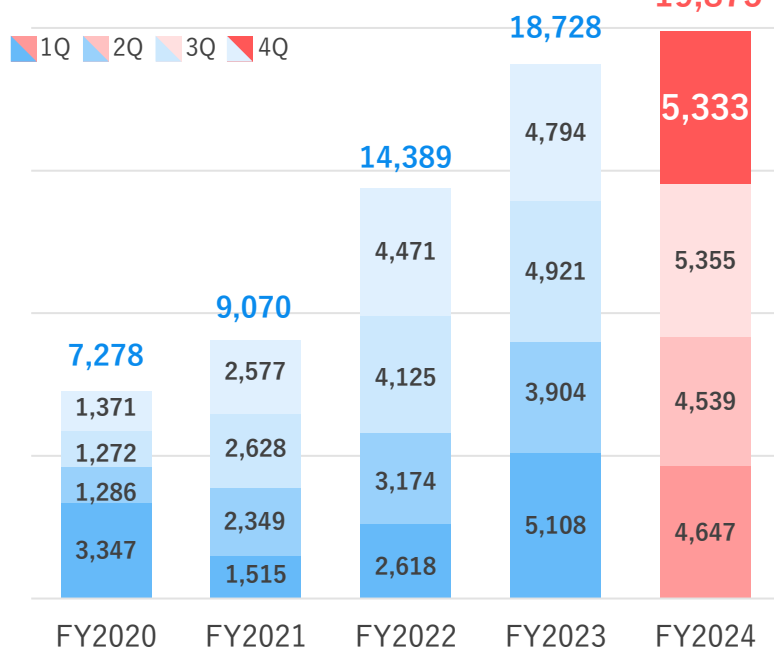
売上高 (百万円)	2023年12月期		2024年12月期		YoY増減率		通期業績予想 2024年6月発表	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率	予想	進捗率
グローバルWiFi事業	18,728 16,903	58.9% -	19,875	55.9%	1,147 2,971	6.1% 17.6%	20,391	97.5%
情報通信サービス事業	12,108	38.1%	14,490	40.8%	2,382	19.7%	14,418	100.5%
グランピング・ ツーリズム事業	913	2.9%	1,155	3.3%	242	26.6%	1,223	94.5%
報告セグメント計	31,749	99.8%	35,521	100.0%	3,772	11.9%	36,033	98.6%
その他	94	0.3%	32	0.1%	△62	△66.0%	112	28.7%
調整額	△36	△0.1%	△25	△0.1%	11	-	0	-
セグメント利益 (百万円)	2023年12月期		2024年12月期		YoY増減率		通期業績予想 2024年6月発表	
	実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率	予想	進捗率
グローバルWiFi事業	5,032 4,482	26.9% -	5,987	30.1%	954 1,504	19.0% 33.6%	5,890	101.6%
情報通信サービス事業	1,040	8.6%	1,693	11.7%	652	62.7%	1,658	102.1%
グランピング・ ツーリズム事業	88	9.7%	119	10.4%	31	35.0%	161	74.4%
報告セグメント計	6,162	19.4%	7,800	22.0%	1,637	26.6%	7,710	101.2%
その他	△176	-	△202	-	△25	-	△147	-
調整額	△1,705	-	△2,232	-	△527	-	△1,855	-

青数字は前期の支援業務等の実施額を差し引いた比較となっております。

グローバルWiFi事業 業績推移

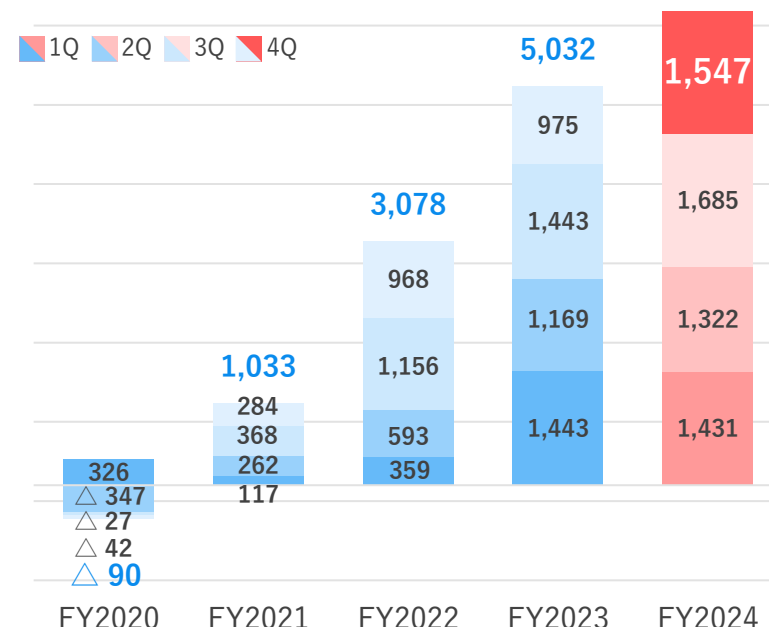
- ◆ アウトバンドは、法人需要が堅調に推移していることに加え、データ容量「無制限プラン（4G・5G）」の需要が高い水準を保っており、顧客単価は引き続き高水準を維持。「無制限プラン」の提供エリアを128の国と地域に、「5Gプラン」の提供エリアも50の国と地域に拡大。
- ◆ インバンドは、訪日外国人向けWi-Fiレンタルサービス「NINJA WiFi®」や空港カウンターに設置しているSIMカード自動販売機での売上が順調に推移。

売上高



セグメント利益又は損失 (△)

(百万円)

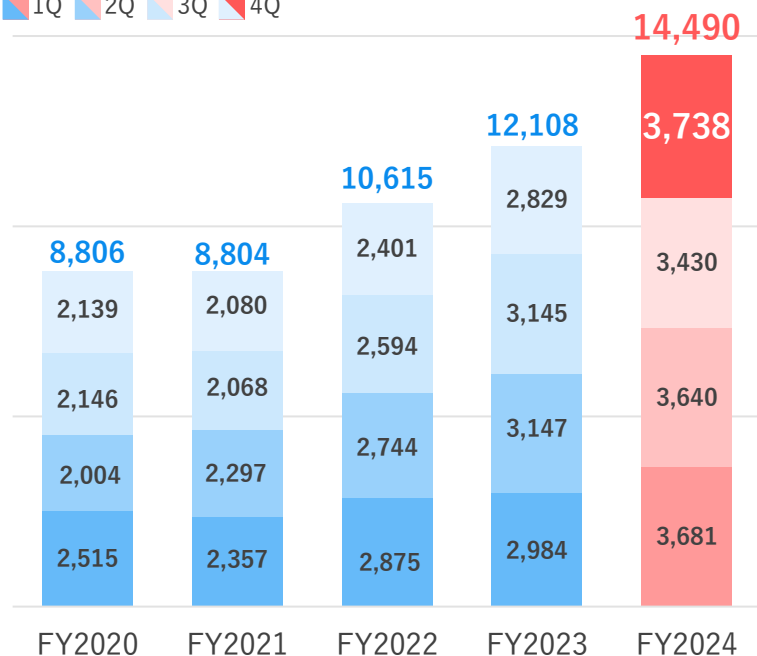


情報通信サービス事業 業績推移

- ◆ 中途採用を積極的に進めることで、営業力を強化。
- ◆ OA機器と移動体通信機器の販売や電気の取次（エコソリューション事業）が好調に推移。
- ◆ ストック商材による安定的な収益基盤の構築。

売上高

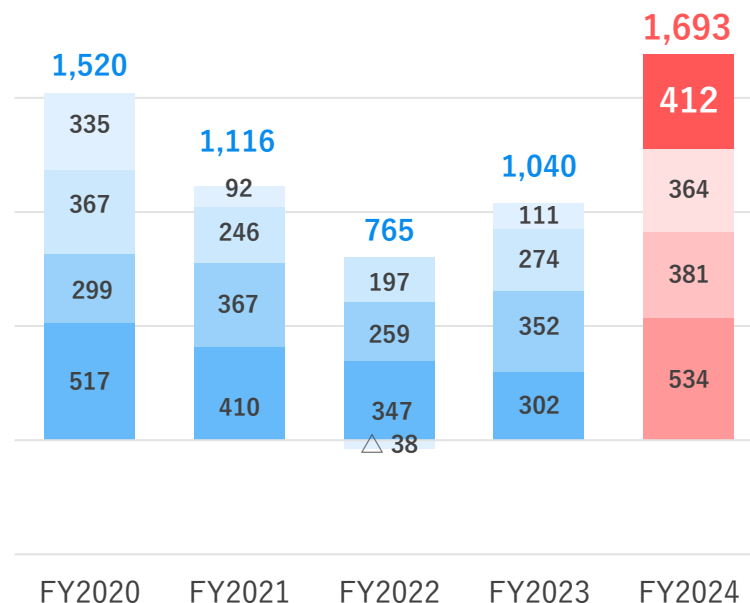
1Q 2Q 3Q 4Q



セグメント利益又は損失 (△)

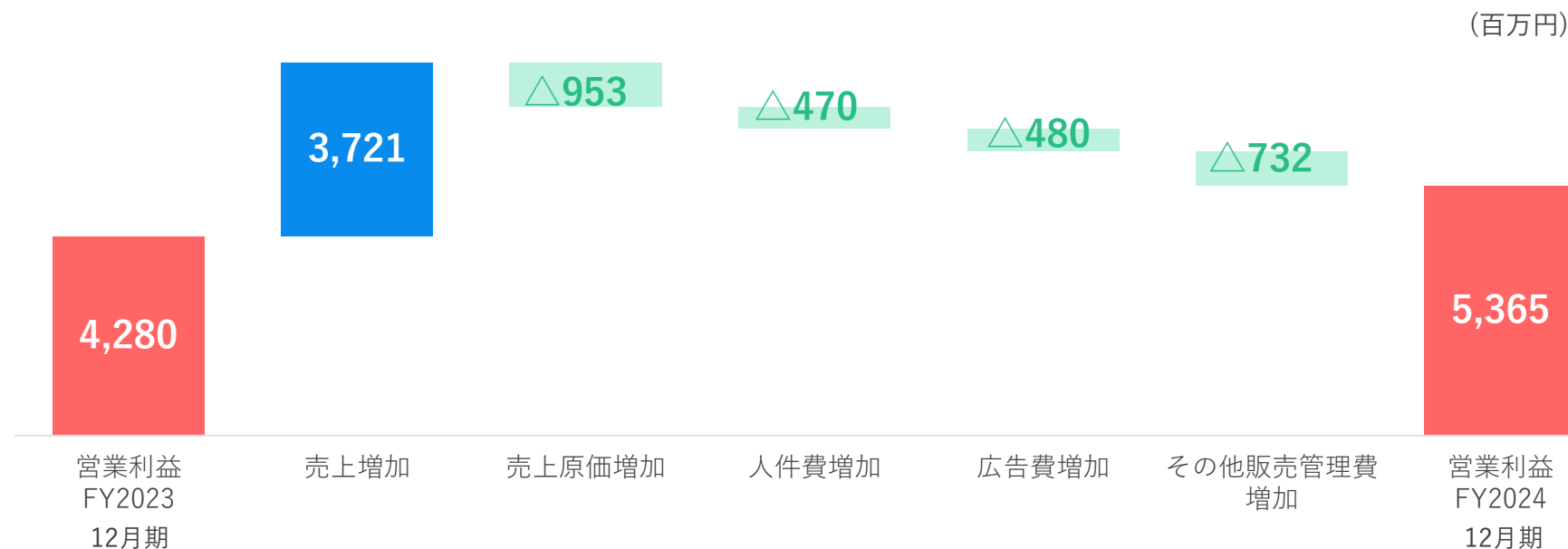
(百万円)

1Q 2Q 3Q 4Q



営業利益の増加要因 前年同期比

- 新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症に引き下げられた関係上、支援業務等は終了したが、グローバルWiFiの法人需要が堅調に推移していることに加え、データ容量「無制限プラン（4G・5G）」の需要が高い水準を保っており、顧客単価は引き続き高水準を維持。情報通信サービスではOA機器と移動体通信機器の販売、さらには電気の取次事業（エコソリューション事業）が好調に推移。
- 売上高11.7%増、売上総利益は15.5%増。
- 販売管理費は12.4%増。株主優待費用として、4.1億円を計上。
- 営業利益率は2023年12月期13.5%から2024年12月期15.1%へ向上。



02

2025年12月期 業績予想

通期業績予想

(百万円)	2024年12月期		2025年12月期		YoY増減率	
	実績	構成比	予想	構成比	増減額	増減率
売上高	35,528	100.0%	40,002	100.0%	4,473	12.6%
売上原価	14,958	42.1%	16,802	42.0%	1,843	12.3%
売上総利益	20,570	57.9%	23,200	58.0%	2,630	12.8%
販売管理費	15,205	42.8%	16,761	41.9%	1,556	10.2%
営業利益	5,365	15.1%	6,439	16.1%	1,074	20.0%
経常利益	5,422	15.3%	6,445	16.1%	1,022	18.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,375	9.5%	4,382	11.0%	1,007	29.8%

セグメント別通期業績予想

売上高 (百万円)

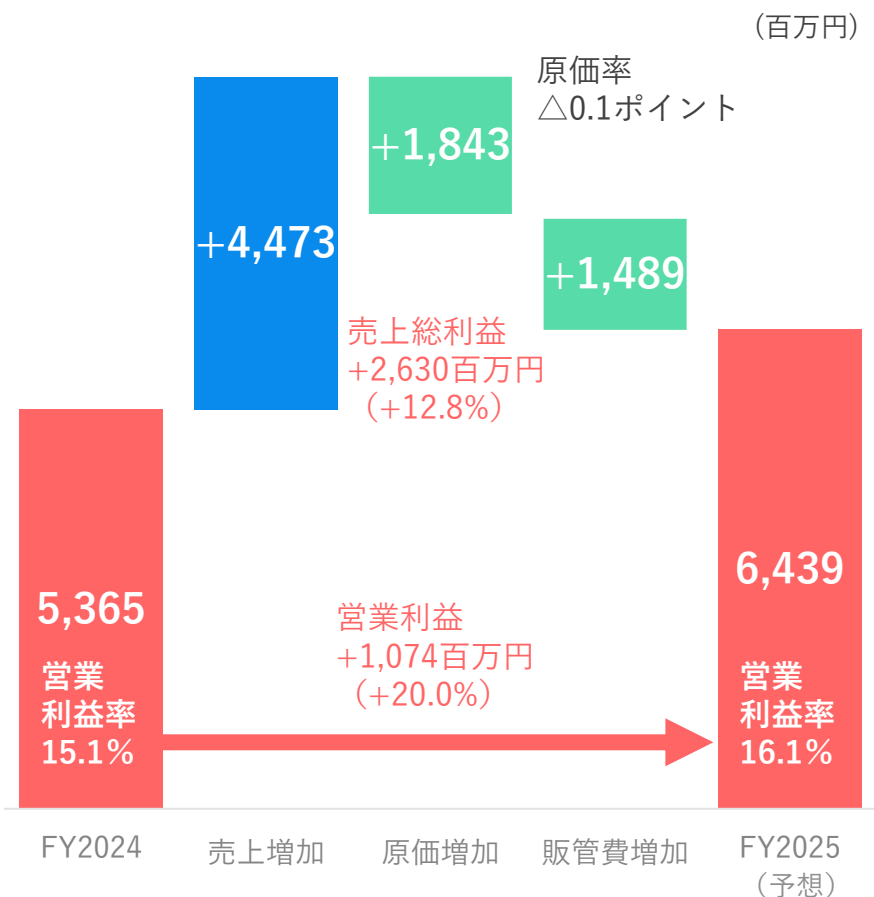
	2024年12月期		2025年12月期		YoY増減率	
	実績	構成比	予想	構成比	増減額	増減率
グローバルWiFi事業	19,875	55.9%	22,778	56.9%	2,902	14.6%
情報通信サービス事業	14,490	40.8%	15,623	39.1%	1,133	7.8%
グランピング・ツーリズム事業	1,155	3.3%	1,576	3.9%	420	36.4%
報告セグメント計	35,521	100.0%	39,978	99.9%	4,456	12.5%
その他	32	0.1%	24	0.1%	△ 8	△ 25.4%
調整額	△ 25	△ 0.1%	0	0.0%	25	-

セグメント利益 (百万円)

	2024年12月期		2025年12月期		YoY増減率	
	実績	利益率	予想	利益率	増減額	増減率
グローバルWiFi事業	5,987	30.1%	6,467	28.4%	480	8.0%
情報通信サービス事業	1,693	11.7%	1,862	11.9%	169	10.0%
グランピング・ツーリズム事業	119	10.4%	150	9.6%	30	25.8%
報告セグメント計	7,800	22.0%	8,481	21.2%	680	8.7%
その他	△ 202	-	△ 80	-	122	-
調整額	△ 2,232	-	△ 1,961	-	270	-

営業利益（予想）の増減要因

営業利益率16.1%
(前年同期比約2.6ポイント上昇)



◆2025年前提条件

積極的な投資を含めた営業利益設定

グローバルWiFi事業

- ・為替：1ドル150円設定
- ・海外渡航回復率
通期：81.1%
- ・プロモーション強化による認知度向上
- ・World eSIM への投資
- ・ニューヨークの稼働開始

情報通信サービス事業

- ・戦略的なデータドリブンセールスで、スタートアップやベンチャー企業のクロスセル機会を最大化
- ・ストック商材による安定的な収益基盤の構築
- ・BPOサポート強化
- ・中途採用を積極的に進めることで営業力を強化
採用：40名予定

◆設定条件外

積極的なM & Aを通じて事業シナジーを最大化

通期業績推移（四半期別推移）

		1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	通期
(百万円)		構成比（対通期）	構成比（対通期）	構成比（対通期）	構成比（対通期）	
2020年12月期	売上高	5,989 (36.0%)	3,641 (21.9%)	3,477 (20.9%)	3,546 (21.3%)	16,654
	営業利益又は営業損失（△）	488	△503	73	45	103
	営業利益率	8.1%	—	2.1	1.3	0.6
2021年12月期	売上高	3,938 (21.8%)	4,706 (26.0%)	4,747 (26.2%)	4,708 (26.0%)	18,100
	営業利益	285 (25.9%)	368 (33.3%)	359 (32.5%)	91 (8.3%)	1,105
	営業利益率	7.3	7.8	7.6	1.9	6.1
2022年12月期	売上高	5,609 (22.0%)	6,019 (23.6%)	6,849 (26.9%)	7,009 (27.5%)	25,487
	営業利益	403 (16.7%)	517 (21.5%)	1,027 (42.6%)	464 (19.2%)	2,414
	営業利益率	7.2	8.6	15.0	6.6	9.5
2023年12月期	売上高	8,347 (26.2%)	7,272 (22.9%)	8,333 (26.2%)	7,853 (24.7%)	31,807
	営業利益	1,382 (32.3%)	1,045 (24.4%)	1,289 (30.1%)	563 (13.2%)	4,280
	営業利益率	16.6	14.4	15.5	7.2	13.5
2024年12月期	売上高	8,581 (24.2%)	8,439 (23.8%)	9,090 (25.6%)	9,417 (26.5%)	35,528
	営業利益	1,524 (28.4%)	1,196 (22.3%)	1,596 (29.8%)	※1,047 (19.5%)	5,365
	営業利益率	17.8	14.2	17.6	11.1	15.1

※株主優待費用4.1億円含む

全社ストック収益 売上総利益推移

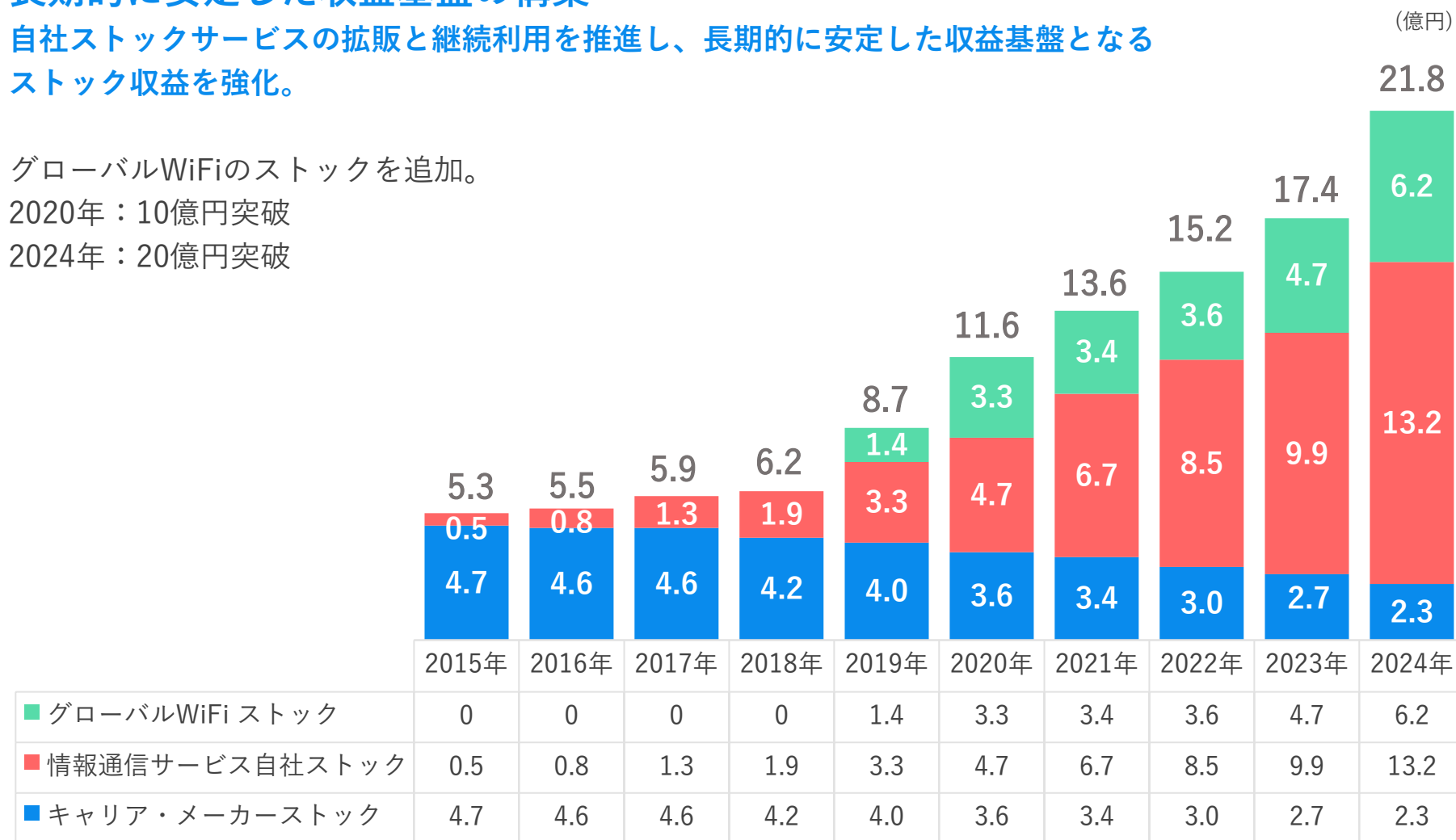
長期的に安定した収益基盤の構築

自社ストックサービスの拡販と継続利用を推進し、長期的に安定した収益基盤となるストック収益を強化。

グローバルWiFiのストックを追加。

2020年：10億円突破

2024年：20億円突破



03

成長に向けた取り組みの内容

中期経営計画：経営数値目標

(百万円)

連結業績・ 資本収益性		2024年度実績	2025年度予想	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
	売上高	35,528	40,002	48,000	55,600	63,400
	営業利益	5,365	6,439	7,500	8,700	10,000
	営業利益率	15.1%	16.1%	15.7%	15.7%	15.9%
	当期純利益	3,375	4,382	5,100	5,900	6,800
	ROE	21.2%	23.3%	23.8%	20%以上	20%以上

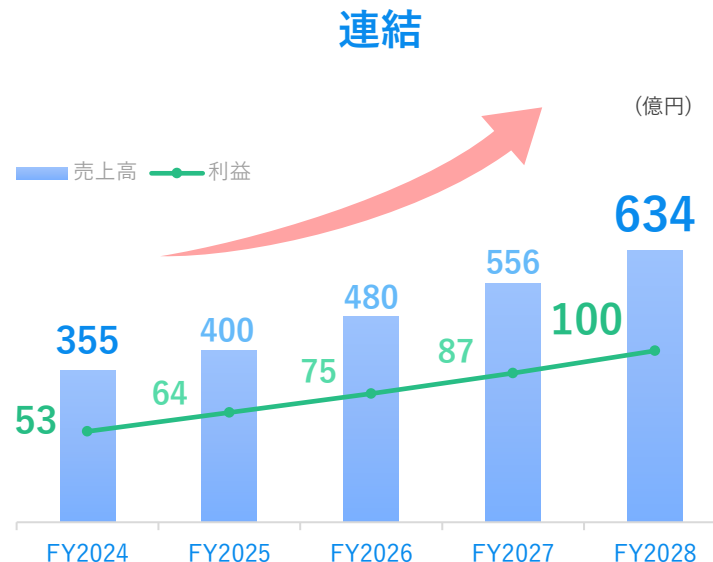
株主還元		2024年度実績	2025年度予想	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
	配当性向	38.8%	50%	50%	検討中	検討中

収益力の向上を図るとともに、資本コストを意識した経営を行い、
ROEを20%以上維持し、資本コストを上回るリターンを継続的に創出することを目指します。

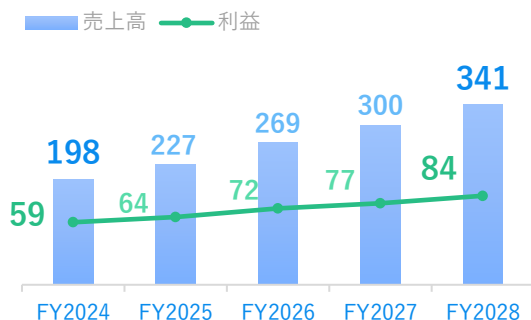
中期経営計画：連結およびセグメント別業績計画

戦略的なデータドリブンセールス

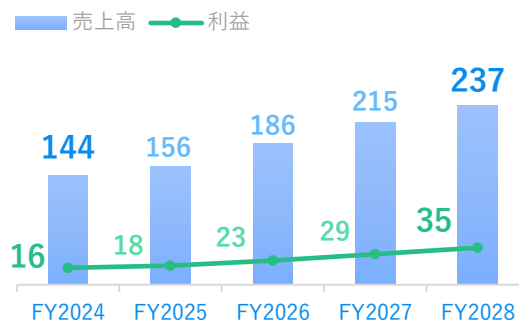
戦略的なデータドリブンセールスを推進し、全事業の営業活動の効率化と成果の最大化を目指し、既存顧客との関係強化、新規顧客の獲得、さらにはストック型収益の拡大に寄与し、持続可能な成長を実現します。



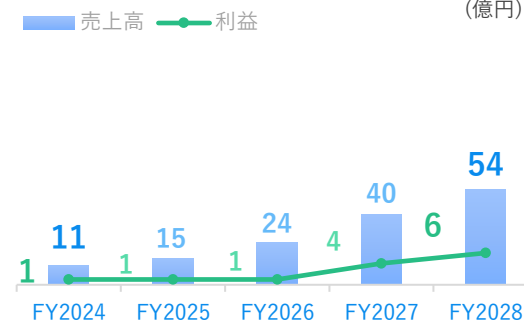
グローバルWiFi事業 (億円)



情報通信サービス事業 (億円)



グランピング・ツーリズム事業 (億円)



中期的な成長イメージ

◆グローバルWiFi事業

インフラの強化（サービス品質の向上）
 ビジネス利用のさらなる拡大
 グローバルWiFi、World eSIMの販売強化
 インバウンド、グローバル事業の強化
 ニーズの高いオプションの開発

◆情報通信サービス事業

長期的に安定した収益基盤の構築
 BPOのサポート強化
 データドリブンセールスでクロスセル機会を最大化
 ニーズの高いオプションの開発

◆グランピング・ツーリズム事業

魅力的なグランピング施設
 ツーリズム事業の強化

【第3ステージ】グローバル（海外⇒海外）

【第2ステージ】インバウンド（海外⇒日本）

※日本国内利用含む

【第1ステージ】アウトバウンド（日本⇒海外）

営業利益
200億円

営業利益
100億円

2028年

M&A

グローバルWiFi事業

情報通信サービス事業

グランピング・ツーリズム事業

販売チャネル

Web
マーケティング

営業
オンライン・オフライン

CLT
カスタマー・
ロイヤルティ・チーム

店舗
カウンター等

パートナー
旅行会社、OTA含む

海外子会社

顧客基盤

スタートアップ・一般企業
上場企業などの法人顧客

海外企業等と取引の
ある法人顧客

国内外の海外旅行者
※インバウンド含む

個人顧客

グローバルWiFi事業

お申込み・お受け取り・ご返却が不要



テレワークでのご利用から、急な海外出張の際もすぐにご利用できます。



一人旅におすすめ



情報を通稱で書き換え



キャリア

- ✓ 自分のスマホが180以上の国と地域で使える！
- ✓ 自分にあった料金プランが選べる！
- ✓ 荷物が増えない、受取りや返却もなし！

業界初！

超高速通信 5Gプラン



人気の容量無制限プラン

128の国と地域で対応中

訪日外国客向け
Wi-Fiルーターレンタルサービス



日本旅行のマストアイテム

日本ではフリーのWi-Fiスポットの普及が進んでいないため、フリーのWi-Fiスポットを見つけることは簡単ではありません。

「NINJA WiFi®」は完全定額制で日本全国どこでもいつものスマホでインターネット！

届いてすぐに使える



国内旅行や一時帰国、ビジネス（出張やイベント利用）、入院、引っ越し、自宅回線との併用等に利用されています。

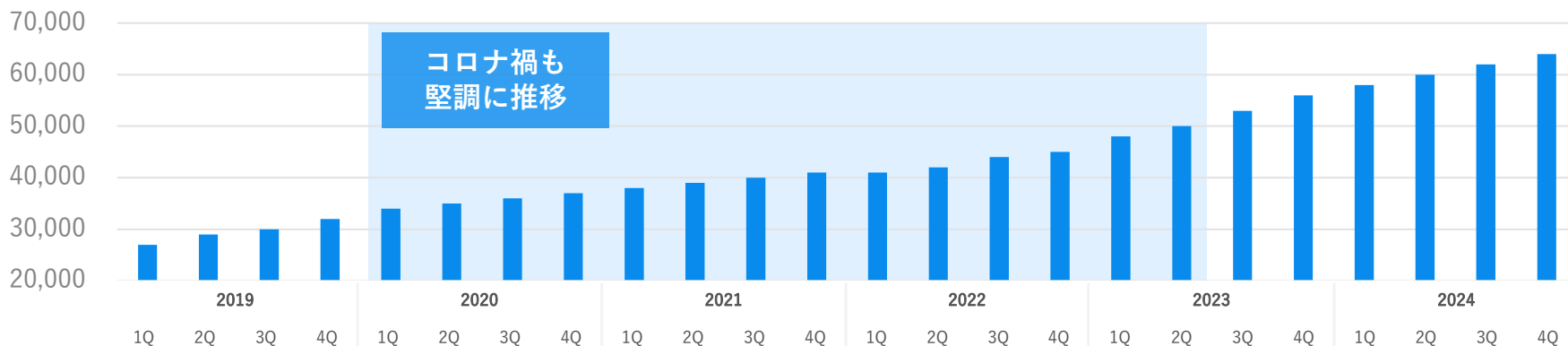
お客様の声から生まれたサービス



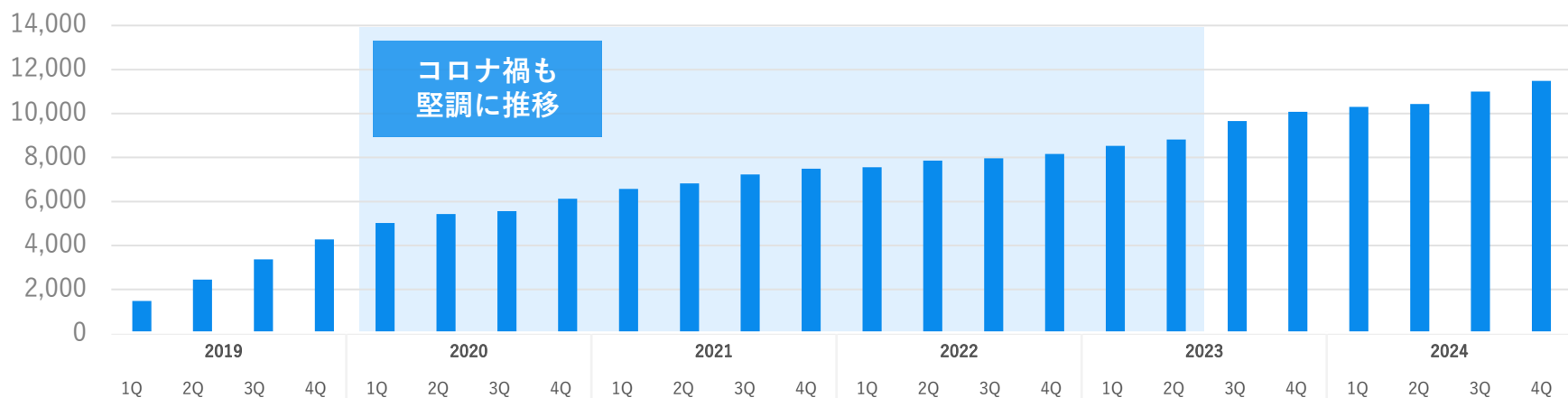
Wi-Fiルーターの購入を検討されているお客様向けの、レンタルではない販売モデルのサービス。購入前にレンタルでのお試し利用でご自宅等の通信環境を確認した上でニーズにあったWi-Fiルーターを購入。

法人専用フォームをご利用の法人一括請求申込み登録社数

(社数)



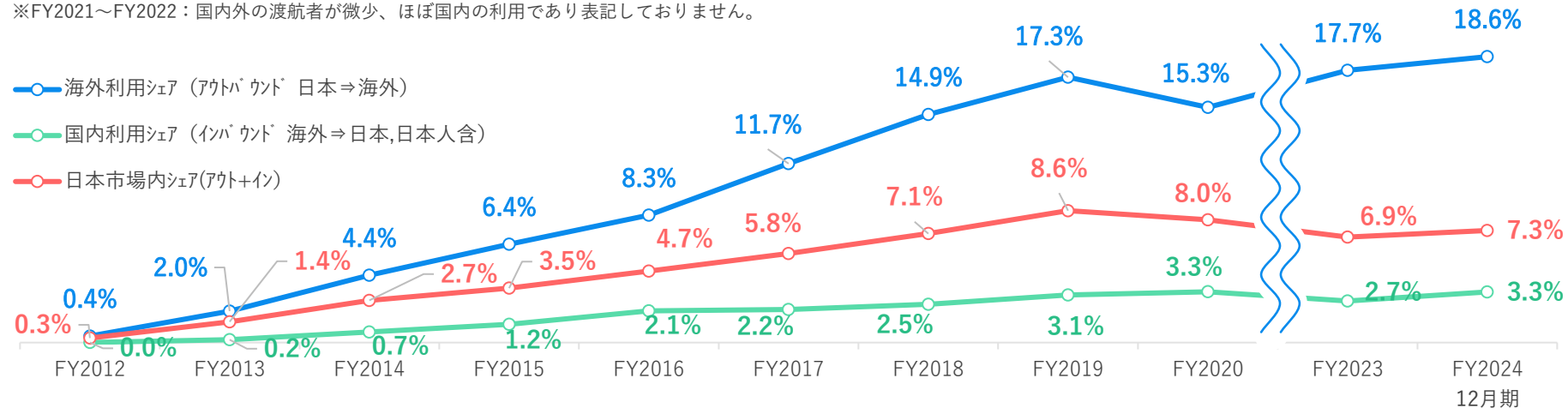
グローバルWiFi for Biz 登録社数



グローバルWiFi事業 利用件数推移

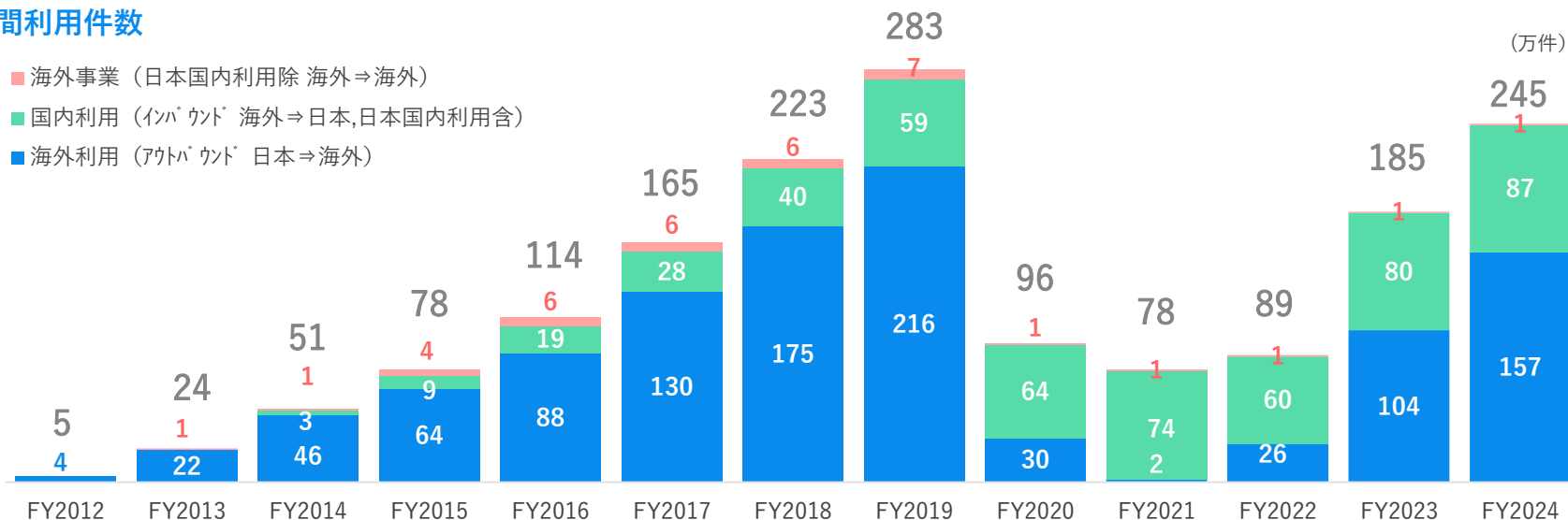
当社Wi-Fiサービス利用浸透率（日本）

※FY2021～FY2022：国内外の渡航者が減少、ほぼ国内の利用であり表記していません。



年間利用件数

- 海外事業 (日本国内利用除 海外⇒海外)
- 国内利用 (インバウンド 海外⇒日本,日本国内利用含)
- 海外利用 (アウトバウンド 日本⇒海外)



トピックス：グローバルWiFi事業

「NINJA WiFi®」 訪日客向けに空港からの送迎オプションサービスの提供を開始。

「NINJA WiFi®」を介して、空港送迎サービス「SmartRyde」の提供を1月7日より開始しました。羽田空港・成田国際空港・関西国際空港から開始し、対象空港は順次拡大予定。滞在中の移動手段を安心・安全、かつリーズナブルな価格でスムーズに手配をしていただけるよう「NINJA WiFi®」のお申込みと同時に、空港から宿泊先などへの空港送迎サービス「SmartRyde」をWebサイトからお申込みができます。



[リリースはこちら](#)

「グローバルWiFi®」 データ通信容量を気にせず使える「無制限プラン」の提供エリアを128の国と地域に拡大。

「グローバルWiFi®」において一日にご利用可能なデータ通信容量に制限を設けない「無制限プラン」の提供エリアを128の国と地域に拡大しました。人気観光地や中央アメリカを中心とした12の国と地域を追加し、より多くの地域で通信容量を気にせずご利用いただけるようになりました。



[リリースはこちら](#)

トピックス：グローバルWiFi事業

「グローバルWiFi®」福岡空港国際線ターミナルのアクセスホール供用開始に伴い、店舗をリニューアルオープン。

12月3日に旅行者の利便性と快適性の向上を目的として拡張した福岡空港国際線旅客ターミナルビル1階の「アクセスホール」内にリニューアルオープンしました。福岡空港国際線ターミナルでは、増改築工事に約3年を費やし、2025年3月28日に国際線のグランドオープンを迎えます。今回、アクセスホールが先駆けて新設されることで到着ロビーは従来の約3倍（※1）に拡張され、当社も店舗面積を増やし、リニューアルオープンしました。（※1）2025年11月末時点



[リリースはこちら](#)

「グローバルWiFi®」5Gの超高速通信を無制限で提供するエリアを50の国と地域に拡大。

11月28日より新たに下記の8つの国と地域で超高速5Gプランの提供を開始しました。今回は人気のリゾート地グアムを含む8つの国と地域を追加し、これにより「グローバルWiFi®」で5Gを提供するエリアは50の国と地域になりました。今後も準備が整い次第、提供エリアを拡大していく予定です。



[リリースはこちら](#)

トピックス：グローバルWiFi事業

「グローバルWiFi®」、QRコードを活用した海外での落とし物の発見サポートサービス「貴重品発見サポート」をオプションとして提供開始

「貴重品発見サポート」はサービス利用者が、万が一、海外渡航中にパスポートや財布などを紛失した際に、その発見をサポートするサービスです。パスポートなどの場合、事前に「THISIS（※1）」のQRコード（※2）が記載された「連絡カード」をしおりのように挟んでおくことで、落とし物の拾得者は「連絡カード」から、自分の携帯電話番号を通知せずに、無料通話およびチャットでビジョンの多言語対応コールセンターへ連絡をすることが可能です。



※1 THISISはTHISIS株式会社が提供する、WebRTCの技術によりインターネット回線上でP2Pの音声通話およびチャットが使用可能な特許取得済みのサービスです。

※2 QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

[リリースはこちら](#)

「グローバルWiFi®」などのWi-Fiルーターレンタルサービスのご利用者累計2,100万人を突破！

Wi-Fiルーターレンタルサービスにおけるグループ全体のご利用者が、累計2,100万人を突破しました（※1）。2024年9月の出国日本人数は1,212,600人で、2019年同月比で約7割まで回復しています。（※2）このような回復の途上において、海外へのビジネス・旅行などで「グローバルWiFi®」を選んでくださる方が増加し、ご利用者数がさらに拡大しています。



※1 Wi-Fiルーターレンタルサービスにおけるグループ全体のご利用者数(2024年11月当社調べ)

※2 日本政府観光局「2024年10月16日報道発表」

[リリースはこちら](#)

米国（ニューヨーク）子会社設立

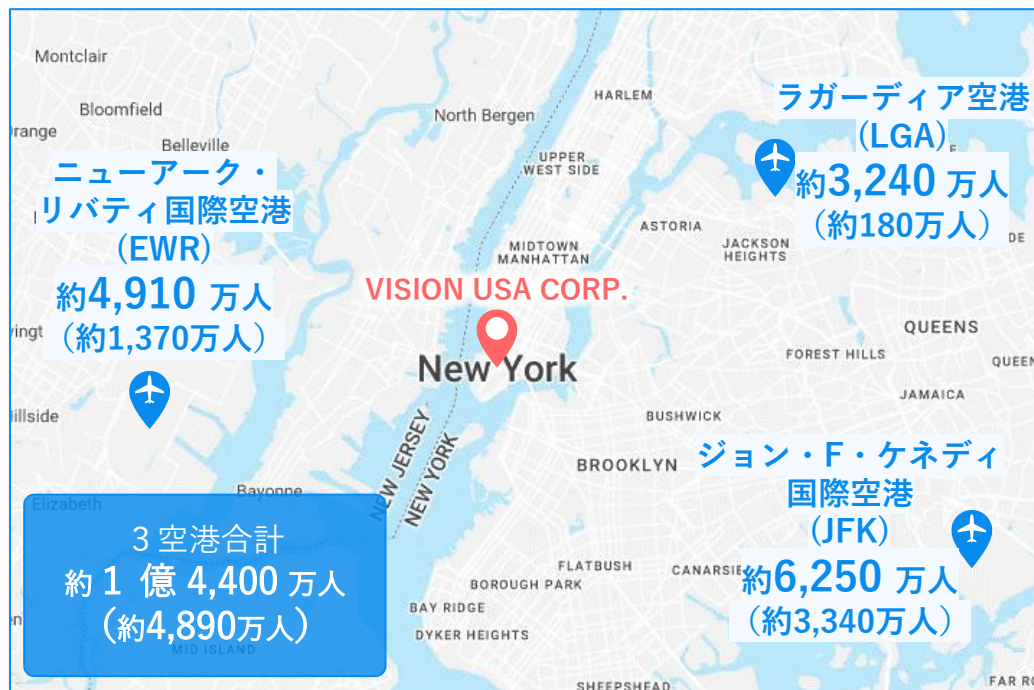
「第3ステージ：グローバル（海外から海外）展開」を加速させるため、米国（ニューヨーク）に子会社を設立。
2025年3月より、事業開始。

新規設立子会社の概要

商号	VISION USA CORP.
所在地	200 Broadway 3rd Floor, New York, NY 10038
事業内容	グローバルWiFi事業
資本金	30万U S ドル
設立年月日	2024年6月
決算期	12月
大株主および持分比率	当社100%
事業開始日	2025年3月

ニューヨーク主要3空港 2023年旅客数

※括弧内は国際線利用者



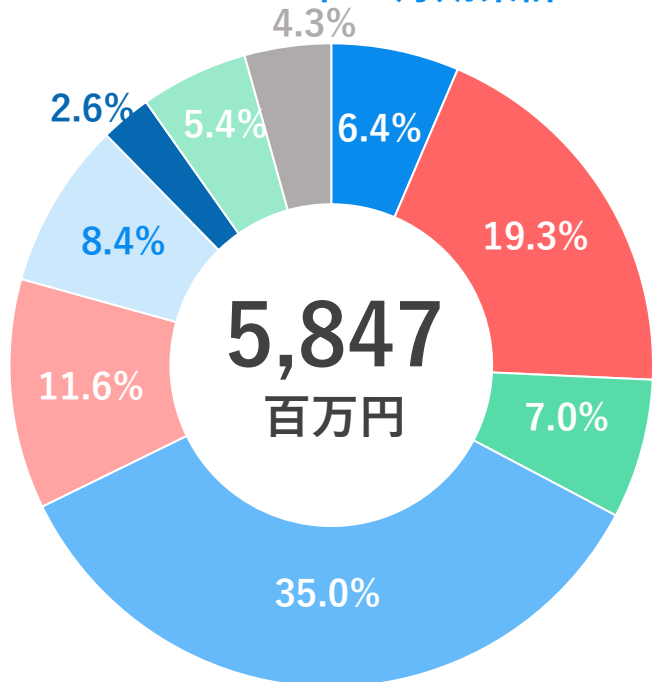
The Port Authority of New York and New Jerseyより、当社作成

情報通信サービス事業 売上総利益構成

複数の事業（商品・サービス）や販売チャネルを有効活用し、外部環境の変化に柔軟に対応することで堅調に推移。

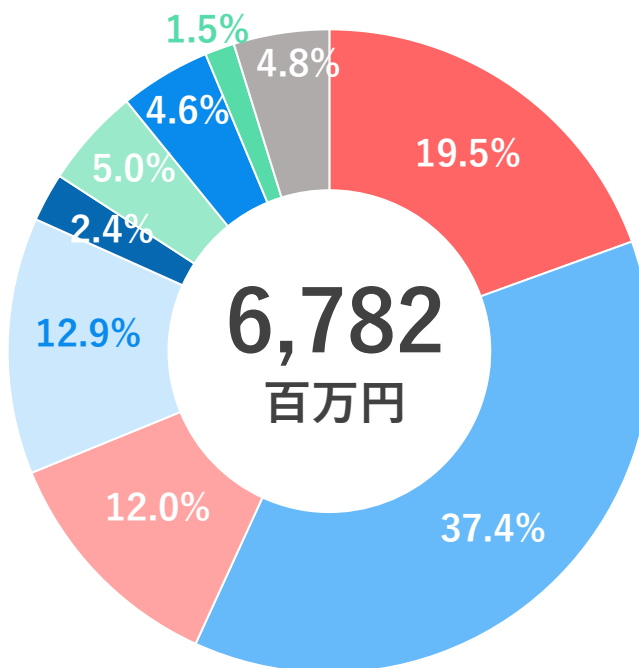
OA機器と移動体通信機器の販売や電気の取次（エコソリューション事業）が好調に推移。

2023年12月期累計



- 固定通信事業
- 移動体通信事業
- ブロードバンド事業
- OA機器販売事業
- インターネットメディア事業
- エコソリューション事業
- 工事関連事業
- スペースマネジメント事業
- その他

2024年12月期累計



- 移動体通信事業
- OA機器販売事業
- インターネットメディア事業
- エコソリューション事業
- 工事関連事業
- スペースマネジメント事業
- アクセスライン
- ビジョン光
- その他

(注)決算処理を含まない月次損益の比率となっておりセグメント業績と値は異なっております。

長期的に安定した収益基盤の構築

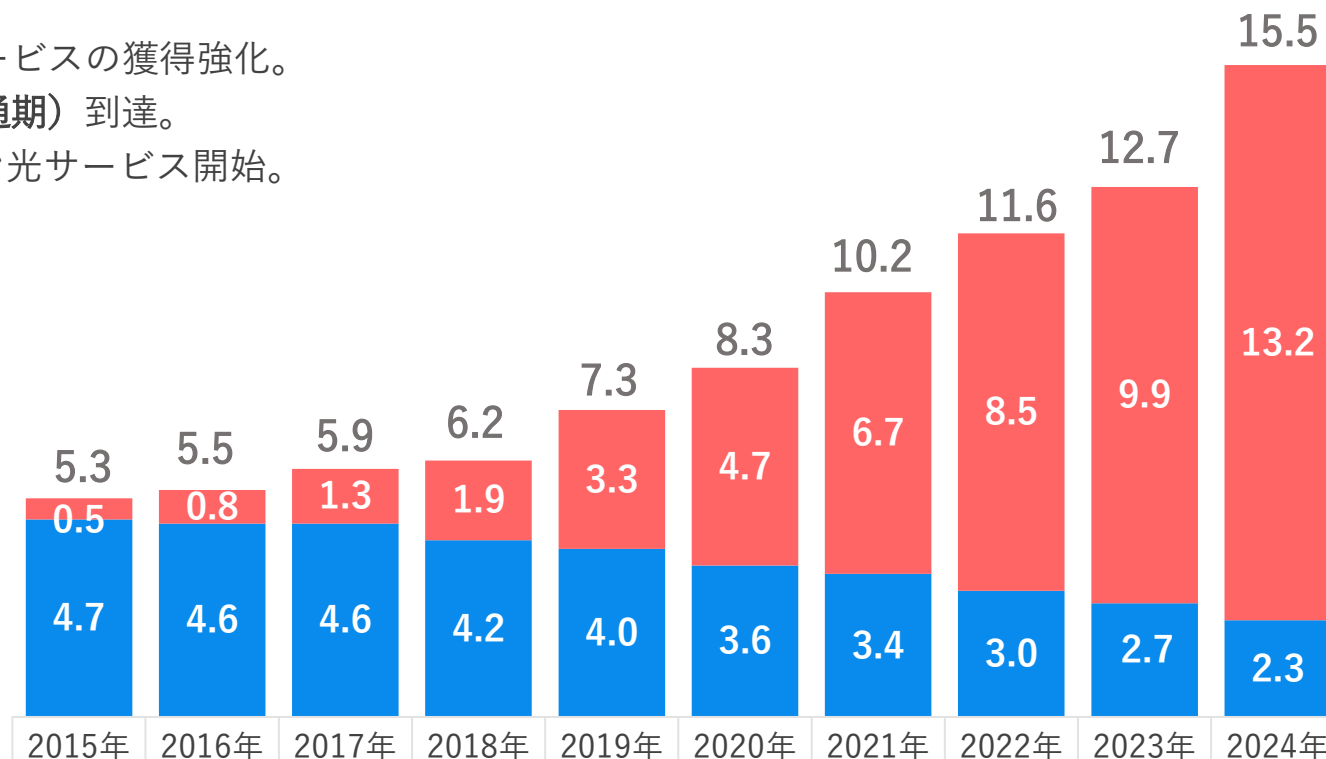
自社ストックサービスの拡販と継続利用を推進し、長期的に安定した収益基盤となる
ストック収益を強化。

(億円)

2019年12月期より自社サービスの獲得強化。

2021年12月期に10億円（通期）到達。

2023年9月より、ビジョン光サービス開始。



■ 自社サービスストック	0.5	0.8	1.3	1.9	3.3	4.7	6.7	8.5	9.9	13.2
■ キャリア・メーカーストック	4.7	4.6	4.6	4.2	4.0	3.6	3.4	3.0	2.7	2.3

自社サービス ～記帳代行ドットコム～

記帳代行サービス

記帳代行ドットコム



決算に必要な記帳業務を代行するサービス



メインターゲット

年商 **1** 億円未満

強み

01

当社既存ユーザーとの相性◎

情報通信サービス事業のユーザーは年商1億円未満の企業が大半。記帳代行ドットコムのターゲット層で、社長自ら仕訳をしている企業との親和性が高い。

強み

02

既存サービスの販売チャネルに

記帳代行ドットコムを通じて、収益や経費周りの把握ができるため、情報通信サービス事業の商材を顧客の成長に合わせて提案が可能に。

費用

初期費用なし

月額 **7,700** 円 (税込) / 200仕訳まで

※201仕訳～は別途ご相談

自社サービス ～顧客・時代のニーズにあった商材・サービス提供～

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により働き方改革が促進。

お客様・市場・時代のニーズを的確に捉え、新規獲得、企業の成長ステージに応じたアップセル・クロスセルにより継続収益を増やしつつ事業成長。



「DX認定事業者」に認定

経済産業省が定めるDX（デジタルトランスフォーメーション）認定制度に基づき「DX認定事業者」に認定されました。



自社の光回線サービス『ビジョン光』
回線契約とプロバイダ契約の2つの契約が必要な場合でも、ワンストップでご提供。回線品質はそのまま、利用料金がお得にご利用いただけます。



記帳・仕訳の代行サービス『記帳代行ドットコム』
確定申告・決算に必要な記帳業務をすべて代行するサービスです。



法人携帯の補償・修理サービス
契約台数35,000台以上。来店不要で簡単交換・自己負担¥0の法人携帯補償サービス。



LED照明
レンタルで導入費用を抑えて省電力照明を。



ホームページ制作・運用
年間制作実績数2,000社以上、スマホ対応のリーズナブルなホームページ制作。運用サービス。ビジュアル訴求に強く、簡単操作で商品やサービスの魅力を伝えます。

自社サービス ～顧客・時代のニーズにあった商材・サービス提供～

「VWSシリーズ」販売好調。

自社開発および自社で利用しているサービスをユーザーへ展開（DX推進）。
クラウドで必要な機能を必要な分だけ月額制で提供。



すべての企業へ、もっと働きやすい環境を

「VWSシリーズ」で「クラウド化」

クラウドツールで日々の業務を効率化しテレワーク等の多様な働き方をサポート。



ネットワークカメラ提供開始

小さい・あんしん・楽しい
Edge AI ネットカメラ



18円/日
ネットワーク
カメラ



格安の価格で、安心を。
月額 **550**円/台(税込)
※1 月額 550円からのご利用になります。

簡易的な事務所を利用されている方や、飲食店での防犯対策をしていない方などにオススメのネットワークカメラ。

ビジョンが提案する、 新しいグランピング



VISION GLAMPING Resort & Spa
こしかの温泉



こしかの温泉のグランピングは、日本初全室プライベート空間および源泉かけ流し露天風呂付きのグランピング施設です。

自然豊かな霧島の環境でキャンプの良さを十分に味わうだけでなく、ホテル並みの快適な空間をお楽しみください。



VISION GLAMPING
Resort & Spa 山中湖



世界遺産の富士山をはじめとする大自然に囲まれた山中湖での滞在体験を通して、非日常の時間をご提供しています。

全室に露天風呂やサウナなど全てを完備した完全プライベートグランピングです。

候補予定地

04

株主還元

株主優待の一部変更と配当について

総株主数が30,000人を超えたことは、当社の認知度向上や個人株主様の増加という成果につながりました。一方で、株主優待制度にて贈呈させていただく非自社製品であるQUOカードもしくはデジタルギフトのご利用額につきましては、当社の販売費および一般管理費として計上されますところ、想定を大幅に上回る費用（予算の2倍以上）となりました。

この結果、株主優待制度に係る費用の増加は、当社の営業利益、当期純利益を減少させる大きな要因となっております。

このような状況を踏まえ、株主の皆様への公平な利益還元について検討を重ねた結果、配当による直接的な利益還元に集約するため、2024年12月末を基準日とする株主優待をもって、QUOカードもしくはデジタルギフトの株主優待制度を廃止することといたしました。

なお、自社製品であり、これまで多くの個人株主の皆様にご愛顧いただいておりますスキンケアシリーズ「KO SHI KA | こしか」の3点セットにつきましては、優待券（3,000円）2枚までの割引を適用し、株主優待サービスの対象に追加させていただきます。

「中期経営計画（2025-2028）の策定および今後の配当政策について」に記載の通り、本計画の前半2年間を収益基盤の再構築期間、後半2年間を成長上乗せ期間として位置づけ、中長期的な安定成長を達成できるよう、各種施策を推進してまいります。

また、当社は株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つと位置付けており、親会社株主に帰属する当期純利益に対する配当性向として30~40%を目安としております。

しかしながら、業績動向、当社株価の水準、成長投資機会等を総合的に勘案しましたところ、株主還元方針をより具体的に明示する必要があるとの結論に至り、加えて、QUOカードもしくはデジタルギフトの株主優待制度の廃止の状況を踏まえ、本計画の前半2年間の限定措置として、配当性向を50%とすることを決定いたしました。

配当方針

当社グループは、財務体質の強化と事業拡大のために必要な内部留保を確保しつつ、当社グループを取り巻く事業環境を勘案して、株主に対して安定的かつ継続的な利益還元を実施していくことを基本方針といたします。この方針に基づき、持続的な成長に向けた戦略投資を最優先とし、企業価値の最大化を図る一方で、資本コストを意識しながら資本効率を高め、安定的かつ持続的な配当の実施と株価形成に繋げていくことを目指し、配当性向30～40%を目安といたします。

また、自己株式の取得・消却につきましては、資本効率の向上および経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を図るために、適切に実施してまいります。剰余金の配当は、期末配当の年1回もしくは中間配当を含めた年2回の配当を行うこととし、配当額の決定機関は取締役会であります。

	1株当たり配当金（円）		
	第2四半期末	期末	合計
2023年12月期	0円00銭	0円00銭	0円00銭
2024年12月期	13円00銭	14円00銭	27円00銭
2025年12月期（予想）	20円00銭	25円00銭	45円00銭

株主優待制度の一部変更について 2025年2月13日発表

2025年6月末時点の株主名簿に記載または記録された株主様を対象に、下記の制度を適用いたします。

- 当社サービスである国内外でモバイルインターネット通信が可能なWi-Fiルーターレンタルサービス「グローバルWi-Fi」、グランピング施設 & 温泉旅館「VISION GLAMPING Resort & Spa」の宿泊、および**スキンケアシリーズ「KO SHI KA | こしか」の3点セット**に関するご利用券（割引券）を贈呈。

1,000株以上の保有者には、300株以上の優待券枚数に加えて、10,000円分を2枚贈呈。

保有株式数	基準日：毎年6月30日 (送付時期：毎年9月)	基準日：毎年12月31日 (送付時期：毎年3月)
100株以上200株未満	3,000円分 2枚	3,000円分 2枚
200株以上300株未満	3,000円分 3枚	3,000円分 2枚
300株以上1,000株未満	3,000円分 3枚	3,000円分 3枚
1,000株以上	3,000円分 × 3枚 10,000円分 × 2枚	3,000円分 × 3枚 10,000円分 × 2枚

ご利用いただけるサービス



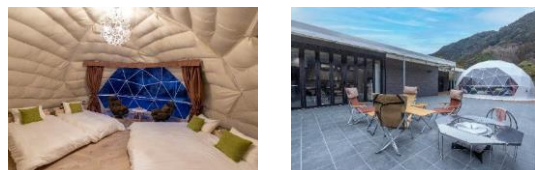
Wi-Fiルーターレンタルは、お申込み1回につき最大29,000円分まで適用可能

海外用Wi-Fiをご選択の際は、ウェアラブル翻訳デバイス「POCKETALK S (ポケットークS)」、アクションカメラ「GoPro (ゴープロ)」を無料でご利用いただけます。

※1回のお申込みにつき各1台まで



宿泊施設のお申込みは、最大29,000円分まで適用可能



スキンケア3点セットのお申込みは、1セットにつき最大6,000円分まで適用可能



Lotion (ローション) 100ml. Milk (ミルク) 100ml. Gel (ジェル) 50g

05

サステナビリティ ～ESG + SDGs～

サステナビリティ委員会 設置

サステナビリティ基本方針

私たちビジョングループは、『世の中の情報通信産業革命に貢献します』を経営理念に掲げており、この理念の下、サステナビリティへの取り組みを重要な経営課題と位置付け、サステナビリティを重視した経営を行います。具体的には、地球環境への貢献、持続可能な社会と経済成長の実現を目指し、「持続可能な成長」という人類普遍の理念に対し、事業を通じて貢献します。

サステナビリティ委員会

サステナビリティの観点で経営を推進していくため、2024年4月にサステナビリティ委員会を設置しました。サステナビリティ委員会では、サステナビリティ活動に関する全体計画の立案、戦略の策定・改定、重要課題の特定等を行い、委員会規程に基づき環境・社会課題の解決に向けた企業活動に取り組むことで、持続可能な社会づくりに貢献しつつ、持続的な成長・中長期的な企業価値向上を実現していきます。

マテリアリティ（重要課題）

共生成長課題（ビジョンスローガン）

地球の一員として多様な社会と共に創る未来のビジョン

ビジョングループは、持続可能な地球環境や社会のために、持続的成長をステークホルダーに約束し、多くの事業活動に取り組んでいます。

そのマテリアリティの最上位にスローガンとしての『共生成長課題』を設定し、すべての事業活動の最重要指針とします。

基盤活動課題

— 社会からの要請 —

事業活動による負の影響

must

ESG	テーマ	マテリアリティ
E	環境保護	地球温暖化防止や環境保護に貢献し、脱炭素社会の実現に向けた取り組み
G	働き方改革	全従業員が多様な働き方ができ、かつ安心して働ける会社

価値創造課題

— 社会からの期待 —

事業活動による正の影響

should

ESG	テーマ	マテリアリティ
S	地方創生	雇用の創出により、地域社会全体の経済活動に貢献
S	未来創造	未来を担う子どもたちの教育格差や医療格差の解消、教育支援や医療支援を通じて社会に貢献

マテリアリティ (重要課題)

基盤活動課題 (マイナス・抑制すべき課題)

地球温暖化防止や環境保護に貢献し、脱炭素社会の実現に向けた取り組み (E)

環境保護



アクション・現状の取り組み

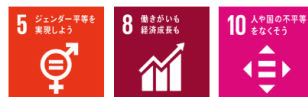
1. VWS勤怠 / リーガルサイン (電子契約) によるペーパーレス化
2. 電気代削減提案 (LED、エアコン、新電力) によるCO₂削減促進
3. 複合機等カーボンオフセット製品の使用によるCO₂削減取り組み
4. CDP回答・SBT認証取得による情報開示
5. グランピング施設にEVステーションを設置

アクション・今後の取り組み

1. グランピング施設における電力自家発電 (太陽光発電等)
2. 缶・ペットボトルからマイボトルへ (自販機撤去)
3. 発電、蓄電を自社で賄う、または事業展開

全従業員が多様な働き方ができ、かつ安心して働ける会社 (G)

働き方改革



アクション・現状の取り組み

1. 時短勤務・フレックス勤務のルール化
2. 女性活躍推進の積極取り組み (えるぼし2つ星承認)
3. 育休の積極取得推進、男性育休の開始
4. キャリアデザイン室の開設、社員のキャリア支援

アクション・今後の取り組み

1. 要介護者家庭・母子家庭・父子家庭への就業支援制度化
2. 更に女性が活躍できるような営業部・商材の確立
3. 資格取得支援によるスキルアップ
4. 本社統一の人事評価制度策定・運用

価値創造課題 (プラス・価値提供のための課題)

雇用の創出により、地域社会全体の経済活動に貢献 (S)

地方創生



アクション・現状の取り組み

1. 地域採用・テレワークで遠隔勤務による雇用拡大
2. グランピング事業にて食品ロスをなくす取り組み
3. グランピング事業を起点に地産地消、観光資源PR
4. 首都圏・地方問わず積極的な障がい者雇用

アクション・今後の取り組み

1. 地方採用・ワーケーションの導入による地域雇用拡大
2. 地方自治体の企業誘致支援の積極活用
3. 地域企業との連携・アライアンス強化で地域企業の成長支援
4. 地方起業家を育成するためのワンストップサービス

未来を担う子どもたちの教育格差や医療格差の解消、教育支援や医療支援を通じて社会に貢献 (S)

未来創造



アクション・現状の取り組み

1. ビジョンキッズ保育園運営で働きやすい環境作り
2. 地方自治体 (GIGAスクール構想) へのWi-Fiルーターレンタルサービス「グローバルWiFi®」でオンライン授業の構築推進
3. グローバルWiFi®で Japan Heart を支援、売上の一部を寄付
4. ピースピースプロジェクトの活動をサポーターとして応援

アクション・今後の取り組み

1. グローバルWiFi®の無償貸与拡大で学生・若者支援
2. 児童養護施設、児童福祉施設の運営もしくは支援
3. 発達障害児童のための施設運営、地域施設との連携
4. カスタマー一体型のNGO団体への支援

ESG + SDGs

ビジョングループは、「情報通信の未来を、すべての人たちの未来のために」という想いのもとに、ESGに配慮した経営と事業戦略を通して、サステナブルな成長と企業価値向上を目指しております。また、国連が定めるSDGsに代表される社会課題の解決等を通じて、社会・地球の調和のとれた持続可能な発展に率先して貢献いたします。



Environmental
環境



一般社団法人RQ災害教育センター



認定特定非営利活動法人みちのくトレイルクラブ



一般社団法人
エコロジー・カフェ



IT地球温暖化対策グリーン
サイトライセンス



Social
社会



えるぼし2つ星取得



特定非営利活動法人ジャパンハート



ビジョンキッズ保育園



Governance
コーポレート・ガバナンス



コンプライアンス・内部統制



IS 650094 / ISO 27001 :2013



プライバシーマーク
(Pマーク) 取得

MSCI ESGレーティング「A」認定

2024年7月時点のMSCI ESGレーティングは
2023年に引き続き「A」認定

MSCI
ESG RATINGS



CCC	B	BB	BBB	A	AA	AAA
-----	---	----	-----	----------	----	-----

DISCLAIMER STATEMENT

THE USE BY VISION INC. OF ANY MSCI ESG RESEARCH LLC OR ITS AFFILIATES ("MSCI") DATA, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT, RECOMMENDATION, OR PROMOTION OF VISION INC. BY MSCI. MSCI SERVICES AND DATA ARE THE PROPERTY OF MSCI OR ITS INFORMATION PROVIDERS, AND ARE PROVIDED 'AS-IS' AND WITHOUT WARRANTY. MSCI NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI.

MSCI（モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル）社のMSCI ESGレーティングにおいて、「A」評価を獲得しました。MSCI ESGレーティングは、企業の環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の取り組みを分析し、最上位ランクのAAAから最下位ランクのCCCまで7段階で格付けされます。

ビジョングループは、「地球の一員として多様な社会と共に創る未来のビジョン」のスローガンを掲げ、多くの事業活動に取り組んでいきます。

CDP「気候変動レポート2024」【B】認定

CDP「気候変動スコア2024」において マネジメントレベル【B】スコアに認定



CDPは、2000年に発足した英国の慈善団体が管理する非政府組織（NGO）であり、投資家、企業、国家、地域、都市が自らの環境影響を管理するためのグローバルな情報開示システムを運営しています。

今回の審査では、2023年に比べ①情報開示の充実：温室効果ガス排出量の詳細なデータ提供や、リスク管理戦略の明確化など、情報開示の質と量が向上、②内部プロセスの改善：環境リスクの特定や管理、ガバナンス体制の強化など、内部プロセスの整備、③ステークホルダーとのコミュニケーション強化：投資家や取引先、従業員などとの対話を通じて、環境戦略や取り組みを効果的に伝達したことが評価されました。

ビジョングループは2024年12月にGHG排出削減目標を掲げるSBTiより国際基準に適合している企業として認定



SCIENCE
BASED
TARGETS

SBTi (Science Based Targets initiative) は、企業が温室効果ガス (GHG) 排出削減目標を科学的根拠に基づいて設定し、それがパリ協定の1.5°C目標や2°C目標と整合しているかどうかを認定する国際的なイニシアチブです。SBTiの認定を取得することで、企業の気候変動対策が国際基準に適合していることを証明できます。



ビジョングループは、共生成長課題（ビジョンスローガン）として「地球の一員として多様な社会と共に創る未来のビジョン」を掲げ、マテリアリティ（重要課題）のひとつ『環境保護：脱炭素社会実現と環境保護への取り組み』を進めております。

統合報告書 2024 発行

創業以来初となる統合報告書を発行し、当社Webサイトにて公開しております。

本報告書では、各事業のビジネスモデルや経営陣からのメッセージを充実させ、ステークホルダーの皆さまに当社の事業活動をより具体的にご理解いただける内容となっております。今後も、統合報告書や当社コーポレートサイトにおける情報開示を充実させ、ステークホルダーの皆さまとの建設的な対話を促進し、さらなる企業価値の向上を目指してまいります。



【主な項目】

- About Us
- CEO メッセージ
- ビジネスモデルと強み
- COO メッセージ
- 社外取締役鼎談
- ESG・サステナビリティ
- コーポレート・ガバナンス
- コンプライアンス
- ビジネスリスク
- Data

[統合報告書はこちら](#)



IR メールマガジン配信開始

IRメールマガジンは、ビジョンの発表するリリースや適時開示、決算情報など、株主や投資家の皆様に重要な最新情報をメールマガジンとして、適時お知らせいたします。

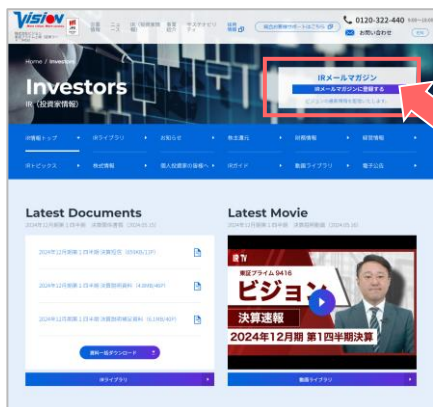
株式会社ビジョンIRメールマガジン
登録フォームはこちらから



IR情報トップページからの登録はこちらから

①IR（投資家情報）トップページのバナーをクリック

<https://www.vision-net.co.jp/ir>



②必要事項をご入力の上「送信」で登録完了です。



送信イメージ



将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料並びに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。

これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらのリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報や将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

株式会社ビジョン

お問い合わせ： IR部 ir@vision-net.co.jp



世の中の情報通信産業革命に貢献します。